

センター南駅周辺の自転車・歩行者安全対策に関する実証実験概要

○現地の状況と課題



- ・歩行者と自転車が錯綜している。
- ・橋の区間では、道幅が狭くなっており、交通が集中している。
- ・通学路なので、多くの小中学生が通行している。

○実験の目的

- 区間①: 自転車が通行する位置等を明示して、自転車の通行位置がどの程度まもられ、安全性がどの程度向上するかを検証する
- 区間②: 徐行(すぐに止まれる速度)を促す路面表示をして、自転車の通行速度に対する意識、安全性がどの程度向上するかを検証する
- 区間③: 押し歩き区間を明示して、自転車の押し歩きがどの程度まもられるかを検証する
- 区間④: 駐輪場前において、押し歩き区間を明示し、駐輪場前に入り出す際に、自転車の押し歩きがどの程度まもられるかを検証する
- 区間⑤: 下り坂において、自転車の通行する位置等を明示し、通行位置がどの程度まもられ、自転車の通行速度に対する意識がどの程度向上するかを検証する

○実験期間

平成27年10月～平成28年3月(予定)

○検証方法

- 観測調査 : 実験実施前・中に、朝・昼・夕の各2時間で観測調査を実施
自転車の通行位置・押し歩きがまもられるかを調査する
- アンケート調査: 実験実施中に、通行人に意識の変化等に関するアンケート調査を実施

【実験の実施内容】

